

【祝福: blessing】

神の創造の経緯で、すべてのものを創造されて、人に祝福を与えておられます。創世記 1 章 27～28 節『27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。28 神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地の上を這うすべての生き物を支配せよ。』』【27 So God created man in His own image; in the image of God He created him; male and female He created them. 28 Then God blessed them, and God said to them, “Be fruitful and multiply; fill the earth and subdue it; have dominion over the fish of the sea, over the birds of the air, and over every living thing that [h]moves on the earth.”】神は万物を創造し、動物と人を祝福しました。また、人がそれらを支配するように言われました。人は他の生物とは違うものとして創造されましたが、生めよ、増えよと子孫が増えることについては同じで、その方法は、動物も植物も人も同じ方法です。雄と雌、おしべとめしべ、男と女、生殖によって増えます。では、人と動物はどこが違うのでしょうか。子孫を残すことにおいては同じですが、人は自由意思を持っていて、それぞれの人が自分の考えによって違う行動を起こします。しかし、動物は自分の考えを持ちません。人はそれぞれに性格を持っています。怒りっぽい人、強情な人、敵意を表す人、賭博にはまる人、妬みやすい人、気の短い人やのんびり屋さん。人は状況によって心が変わり、良い面が出る長所と悪い面が出る短所があります。動物と違って一律ではありません。そして、自己顕示欲があるのが人です。ヘブル 7 章 7 節『言うまでもなく、より劣った者が、よりすぐれた者から祝福を受けるものです。』【Now beyond all contradiction the lesser is blessed by the better.】祝福は上位の者から下位の者に与えられるものです。最高の上位の者とは神です。神はアブラハムを祝福して言われました。創世記 12 章 1～3 節『1 主はアブラム(後のアブラハム)に言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、わたしが示す地へ行きなさい。2 そうすれば、わたしはあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。3 わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。』』【1 Now the Lord had said to Abram: “Get out of your country, From your family. And from your father’s house, To a land that I will show you. 2 I will make you a great nation; I will bless you. And make your name great; And you shall be a blessing. 3 I will bless those who bless you, And I will curse him who curses you; And in you all the families of the earth shall be blessed.”】神はアブラハムを選んで祝福を与えました。それが今の私たちとどういう関係があるのでしょうか。ガラテア 3 章 13～14 節『13 キリストは、ご自分が私たちのためにのろわれた者となることで、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。「木にかけられた者はみな、のろわれている」と書いてあるからです。14 それは、アブラハムへの祝福がキリスト・イエスによって異邦人に及び、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるようになるためでした。』【13 Christ has redeemed us from the curse of the law, having become a curse for us (for it is written, “Cursed is everyone who hangs on a tree”), 14 that the blessing of Abraham might come upon the Gentiles in Christ Jesus, that we might receive the promise of the Spirit through faith.】アブラハムへの祝福と私たちとはおおいに関係があります。私たちがイエス・キリストに連なっていればの話です。祝福の反対語はのろいです。私たちは祝福を受けるに相応しいものではありません。のろいを受けるべきものです。しかし、イエス・キリストはそのような私たちの身代わりとなつてのろわれるものとなつてくださいました。木とは十字架のことです。そして信じる者をのろいから祝福へと変えてくださいました。「異邦人に及び」とありますが、神の選民であるユダヤ人以外の者を指します。しかし、この祝福は、まずユダヤ人に及ぶものでした。使徒たちはユダヤ人でした。しかし、ユダヤ人がこれを受け入れなかったため、異邦人に及んだのです。彼らはこの祝福を福音という名のもとに、伝道のため世界に出て行きました。I ペテロ 3 章 9 節『悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。』【not returning evil for evil or reviling for reviling, but on the contrary blessing, knowing that you were called to this, that you may inherit a blessing.】伝道しているならば、必ず反対者に出会います。その時に受ける「悪に対して、または侮辱に対して、祝福するように」と使徒であるペテロは手紙に書いています。のろわれたならば、永遠にうじ虫が尽きることなく、裁きの火が消えないゲヘナに投げ込まれます。